

| 天皇・遷都・政変 | 政治改革 | 蝦夷征討 |
|--|--|--|
| <p>光仁天皇…天智系</p> <p>[a.]天皇(位 781~806)</p> <p>: 母は高野新笠(渡来系)</p> <p>↓ 新皇統の成立・仏教勢力の排除</p> <p>[b.]遷都 (784)</p> <p>⇒ [c.]暗殺(785)</p> <p>早良親王の関与</p> <p>↓ 洪水などもあり再遷都</p> <p>[d.]遷都 (794)</p> <p>和氣清麻呂の提案</p> <p>「造作」</p> | <p>政治改革</p> <p>律令制の成人男性への重い負担により 浮浪・逃亡が増加し、律令制が動揺</p> <p>最澄への援助 ↓ 国家財政の悪化</p> <p>《律令制度の立て直し》</p> <ul style="list-style-type: none"> • [h.]の制(792) → 東北・九州を除いて軍団を廃止し、郡司の子弟を兵士に採用 • 雑徭の半減 (60日→30日) (795) → 公民の負担軽減 • [i.]の設置(797) ⇒ 国司の交代の際の不正を防止 • 畿内の班田を1紀(12年)1班に変更 ⇒ 班田制の立て直し <p>徳政相論(805)</p> <p>[g.] 対 菅野真道 (中止派) (継続派) ⇒ 「軍事と造作」の中止を決定</p> | <p>これけりのあさまる 伊治皆麻呂の乱(780)</p> <p>蝦夷戦争の激化</p> <p>征東大使紀古佐美を派遣 (789)</p> <p>⇒ 阿弭流為(アテルイ)に敗北</p> <p>[e.]を 征夷大將軍に任命(797)</p> <ul style="list-style-type: none"> • [f.]城の設置 (802) ⇒ 阿弭流為の降伏 (多賀城から鎮守府移設) • 志波城の設置(803) <p>「軍事」</p> |
| <p>[j.]天皇(位 806~809)</p> | <p>病のため弟の嵯峨天皇に譲位するが回復</p> | |
| <p>[k.]天皇(位 809~823)</p> <p>平城上皇の平城京再遷都</p> <p>「二所朝廷」</p> <p>平城太上皇の変(薬子の变/810)</p> <p>① 藤原式家の地位の低下</p> <p>[l.]を射殺、</p> <p>[m.]は自害</p> <p>② 平城上皇の皇子の廃太子</p> <p>天皇の弟 (後の淳和天皇) が皇太子となった</p> <p>この時、空海は嵯峨天皇側の勝利を祈祷 その後、高野山・東寺(教王護国寺)を嵯峨天皇から賜る</p> | <p>平城上皇の平城京再遷都</p> <ul style="list-style-type: none"> • [n.]の設置…宮中の機密保持 ⇒ [o.] (藤原北家)を任命 • [p.]の設置 : 京の治安維持、訴訟・裁判を担当 ⇒ 天皇直属の令外官が設置され、<u>天皇個人に権力が集中するように</u> • [q.]の編纂(820) ⇒ 官僚制機能が充実し、天皇個人の能力に依存しない政治運営が可能に • 唐風化政策…天皇権威の強化 ↓ 文章経国思想の発達(官人の教養として) <p>勅撰漢詩集の編纂</p> <p>『凌雲集』・『文華秀麗集』(嵯峨) 『経国集』(淳和)</p> | <p>文室綿麻呂による蝦夷平定 (811)</p> <p>⇒ 徳丹城(812)を築く</p> |

フローシート 平安王朝の形成 桓武・嵯峨天皇

| 天皇・遷都・政変 | 政治改革 | 蝦夷征討 |
|---|--|--|
| <p>光仁天皇…天智系</p> <p>[a. 桓武] 天皇(位 781~806)</p> <p>: 母は高野新笠(渡来系)</p> <p>↓ 新皇統の成立・仏教勢力の排除</p> <p>[b. 長岡京] 遷都 (784)</p> <p>⇒ [c. 藤原種継] 暗殺(785)</p> <p>早良親王の関与</p> <p>↓ 洪水などもあり再遷都</p> <p>[d. 平安京] 遷都 (794)</p> <p>和氣清麻呂の提案</p> <p>「造作」</p> | <p>政治改革</p> <p>律令制の成人男性への重い負担により 浮浪・逃亡が増加し、律令制が動揺</p> <p>↓ 国家財政の悪化</p> <p>最澄への援助</p> <p>《律令制度の立て直し》</p> <ul style="list-style-type: none"> • [h. 健儿] の制(792) 東北・九州を除いて軍団を廃止し、郡司の子弟を兵士に採用 • 雑徭の半減 (60日→30日) (795) • [i. 勘解由使] の設置(797) ⇒ 国司の交代の際の不正を防止 • 畿内の班田を 1紀(12年) 1班に変更 ⇒ 班田制の立て直し <p>公民の負担軽減</p> <p>「軍事」</p> <p>徳政相論(805)</p> <p>[g. 藤原緒嗣] 対 菅野真道 (中止派) (継続派) ⇒ 「軍事と造作」の中止を決定</p> | <p>これけりのあぎまる 伊治皆麻呂の乱(780)</p> <p>↓ 蝦夷戦争の激化</p> <p>征東大使紀古佐美を派遣 (789) ⇒ 阿弼流為(アテルイ)に敗北</p> <p>↓</p> <p>[e. 坂上田村麻呂] を 征夷大將軍に任命(797)</p> <ul style="list-style-type: none"> • [f. 胆沢] 城の設置 (802) ⇒ 阿弼流為の降伏 (多賀城から鎮守府移設) • 志波城の設置(803) |
| <p>[j. 平城] 天皇(位 806~809)</p> <p>[k. 嵯峨] 天皇(位 809~823)</p> <p>平城上皇の平城京再遷都</p> <p>「二所朝廷」</p> <p>平城太上皇の変(薬子の变/810)</p> <p>① 藤原式家の地位の低下</p> <p>[l. 藤原仲成] を射殺、 [m. 藤原薬子] は自害</p> <p>② 平城上皇の皇子の廃太子 天皇の弟 (後の淳和天皇) が皇太子となった</p> <p>この時、空海は嵯峨天皇側の勝利を祈祷 その後、高野山・東寺(教王護国寺)を嵯峨天皇から賜る</p> | <p>病のため弟の嵯峨天皇に譲位するが回復</p> <p>⇒ [n. 藏人头] の設置…宮中の機密保持 ⇒ [o. 藤原冬嗣] (藤原北家) を任命</p> <p>⇒ [p. 檢非違使] の設置 : 京の治安維持、のち訴訟・裁判を担当 ⇒ 天皇直属の令外官が設置され、 <u>天皇個人に権力が集中するように</u></p> <p>「格」…修正・追加法 「式」…施行細則</p> <p>⇒ [q. 光仁格式] の編纂(820) ⇒ <u>官僚制機能が充実</u>し、天皇個人の能力に依存しない政治運営が可能に</p> <p>• 唐風化政策…天皇権威の強化 ↓ 文章経国思想の発達(官人の教養として)</p> <p>勅撰漢詩集の編纂</p> <p>『凌雲集』・『文華秀麗集』(嵯峨) 『経国集』(淳和)</p> | <p>文室綿麻呂による蝦夷平定 (811) ⇒ 徳丹城(812)を築く</p> |